

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成21年12月3日(2009.12.3)

【公表番号】特表2009-517127(P2009-517127A)

【公表日】平成21年4月30日(2009.4.30)

【年通号数】公開・登録公報2009-017

【出願番号】特願2008-542332(P2008-542332)

【国際特許分類】

A 6 1 B 5/025 (2006.01)

A 6 1 B 5/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/02 3 5 0

A 6 1 B 5/00 1 0 1 R

【手続補正書】

【提出日】平成21年10月16日(2009.10.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

生体音響エネルギーを感知するためのセンサーであって、

境界面部分を備えるハウジングであって、前記ハウジングの前記境界面部分は、前記センサーの使用中における身体部位との結合を確立するように構成されている、ハウジングと、

少なくとも1つの自由端部と固定装置とを備える変換器部材であって、前記ハウジングの他の部分と比べて、前記ハウジングの前記境界面部分を通じて前記変換器に伝達された生体音響エネルギーを優先的に感知しうるように配置されるように、単一の固定場所で前記固定装置を通じて前記ハウジングに固定的に結合された変換器部材と、

前記変換器部材に結合された少なくとも1つの伝導体と、を備えることを特徴とするセンサー。

【請求項2】

前記複数の変換器部材の各々が、前記複数の変換器部材のうちの少なくとも1つの他の変換器部材の周波数応答とは異なる周波数応答を有するように構成されていることを特徴とする、請求項1に記載の複数の変換器部材を備えるセンサユニット。

【請求項3】

生体音響エネルギーを感知する方法であって、

センサーハウジングの境界面部分と、生体音響エネルギーが発せられる身体部位との間の結合を確立するステップと、

前記センサーハウジングの中に設けた変換器であって、前記生体音響エネルギーに応答して片持ち梁モードで動作可能な変換器を励振するステップと、

前記変換器の励振に応答して前記変換器によって信号を変調するか又は発生するステップと、を含むことを特徴とする方法。